

レビューシート(事業改善型)

様式 1

レビュ-項目 (事業名)	潜在保育士復職支援研修事業				部(局)	福祉部		
					所管課	こども政策課		
					担当班	こども育成班		
					連絡先	078-362-3199		
開始年度	平成28年度	終了年度	一	関連計画等	一			
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県		
事業目的	保育現場の慢性的な人手不足に加え、待機児童解消及び女性就業率の上昇による保育需要の拡大に対応するため「保育の受け皿」整備が進められており、保育人材の更なる確保が必要となっている。 このため、保育士資格を持ちながらも、保育士として働いていない者(潜在保育士)等に対する就業支援を目的とした研修を実施することにより、不足している保育士人材確保を図る。							
事業概要	潜在保育士の保育現場への復帰に向け、阻害要因となっている「ブランクへの不安」や「責任の重さへの不安」等の不安要素を解消するため、実践的な研修を行う。 ・保育士等キャリアアップ研修ガイドラインに基づいた、基礎から実習まで幅広に設定した研修を実施 ・昨今の保育環境変化、今注目されている項目など、潜在保育士が復職にあたり不安視する内容を重点的に実施							
これまでの改善状況	希望する者がより参加しやすくなるよう、研修内容等を工夫し、研修日程の見直しを随時図ってきた。 ～平成30年度：研修3日、実習2日、意見交換1日 令和元年度：研修2日、実習2日、意見交換1日 令和2、3年度：研修3日、実習1日 令和4年度～：研修2日、実習1日 令和6年度：研修3日、実習1日 ※受講者の体力、集中力等を勘案し1日の研修時間を減、日数を増							
業務フロー	県(委託) → 受託事業者(研修企画、広報・参加者募集、研修実施) → 潜在保育士(研修受講、復職)							
事業に要するコスト	区分	4年度決算額		5年度決算額		6年度当初予算額	7年度当初予算額	
	事業費①	3,915 千円		3,915 千円		3,915 千円	4,219 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円	0 千円
		委託料	3,892 千円		3,892 千円		3,892 千円	4,187 千円
		補助金・交付金	0 千円		0 千円		0 千円	0 千円
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円	0 千円
		その他	23 千円		23 千円		23 千円	32 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(1,957千円)		(1,957千円)		(1,957千円)	(2,109千円)
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(1,958千円)		(1,958千円)		(1,958千円)	(2,110千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載	3,915 千円		3,915 千円		3,915 千円	4,219 千円	
	執行率((①/②) × 100)	100.0%		100.0%		100.0%	100.0%	
	人件費③ (a+b+c)	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	
			826 千円		825 千円		872 千円	
		職員給与費 a	714 千円		716 千円		760 千円	
	賞与引当金繰入額 b	58 千円		59 千円		58 千円		
退職手当引当金繰入額 c	54 千円		50 千円		54 千円			
総コスト(①+③)	4,741 千円		4,740 千円		4,787 千円	5,118 千円		

レビューシート(事業改善型)

樣式 1

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度見込	7年度目標	最終目標【年度】
評価	成果指標(アウトカム指標①) 研修受講者のうち1年以内の復職希望者	目標	15	15	15	15	15
		実績(見込)	11	9	(4)	(15)	【-】
		(単位当たりコスト)	(431 千円)	(527 千円)	(1,197 千円)	(341 千円)	
		達成率(見込)	73.3%	60.0%	(26.7%)	(100.0%)	
評価	成果指標(アウトカム指標②) 研修受講者数	目標	50	50	50	50	50
		実績(見込)	29	35	(25)	(50)	【-】
		(単位当たりコスト)	(163 千円)	(135 千円)	(191 千円)	(102 千円)	
		達成率(見込)	58.0%	70.0%	(50.0%)	(100.0%)	
評価	成果指標(アウトカム指標③)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
指標	活動指標(アウトプット指標①) 研修の案内先数	目標	70	70	70	140	140
		実績(見込)	85	85	(87)	(140)	【-】
		(単位当たりコスト)	(56 千円)	(56 千円)	(55 千円)	(37 千円)	
		達成率(見込)	121.4%	121.4%	(124.3%)	(100.0%)	
指標	活動指標(アウトプット指標②)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
指標	活動指標(アウトプット指標③)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
目標	終期設定	有()		-		無	
目標	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価				目標に対する達成状況(総合的評価)	
自己評価	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているかなど	保育人材の確保は、国内産業全体の人材不足、保育ニーズの高まりなどにより、県民生活における喫緊の課題であることから、事業の必要性は高いが、受講者数は伸び悩んでいる。				潜在保育士の復職による保育人材の確保に向け、まずは当該研修の受講者数の増大が望まれるが、受講者数が伸びていないため、案内先や開催方法についての検討が必要。	
自己評価	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているかなど	民間活力を活用するため、民間事業者に委託し、企画、広報、研修実施まで行っている。					
自己評価	課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他					
自己評価	説明	受講者数および復職希望者数の増加に向け、潜在保育士および実際に復職した保育士に対してアンケート調査および分析を実施し、研修の周知方法、案内先や、参加しやすい開催方法などを検討していく。					
外部委員会意見	・県内に約5万人いる潜在保育士に対して、研修受講者数が極端に少ないため、効果的な広報手段がとれていないのではないか。 ・「仕事がきつい割に報われない」という印象が強く、復職意欲を削いでいるのではないか。職場環境の改善等、パッケージとして総合的な取り組みも進めていただきたい。また、潜在保育士だけでなく、受け入れる保育所側の理解と準備も不可欠である。 ・研修の案内先数が増えれば、受講者が直接的に増えるというわけではないため、送り方や送る場所も検討していただきたい。 ・保育士の仕事の価値や意義を前面に出した広報を実施し、保育士の仕事が社会に貢献していることを強調してはどうか。 ・県が保有している保育士のリストから、個人情報に配慮しつつ、潜在保育士の登録を促す仕組みを構築し、「潜在保育士バンク」を作り上げることを試みてはどうか。 ・研修受講者数ではなく、「保育士バンクの登録者数」をアウトカム指標にしてはどうか。 ・現職保育士へのアプローチから始め、SNSなどを活用して情報発信を強化し、研修案内などに活用してはどうか。	改善結果					